

再審査結果報告書

兵庫医科大学病院

2024年4月5日



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

- 受審種別 : 機能種別版評価項目 3rdG:Ver.2.0 (主:一般病院3)
- 再審査
再審査の方法 : 訪問による審査 (2024年2月19日)

1. 各審査における評価および評価所見

No	項目番号	評価項目
1	1.4.2	医療関連感染制御に向けた情報収集と検討を行っている

(1) 本審査「審査結果報告書」(発行日:2022年8月19日)

評価: C

所見: 【適切に取り組まれている点】

「感染制御部」スタッフは院内ラウンドなどによる現状の把握・分析および対策の立案、スタッフの指導などを行うほか、地域の感染症情報の収集と定期的な発信、院内での指導・研修の実施など、様々な感染制御活動に取り組んでいる。アウトブレイクへの対応は主要疾患ごとマニュアルに規定され、実際の事例の記録も残されている。県内他病院や私立医大病院との連携体制も構築され、ピアレビューを実施している。ASTは毎日ラウンドを実施して抗菌薬の使用状況の把握や適正使用に向けた介入・指導も行っている。病院設備の改修時におけるICRAに基づく対策にも取り組んでいる。

【課題と思われる点】

手術部位感染 (SSI) は消化器系外科4科19術式においてのみ実施されていた。また、血流感染 (BSI) は複数病棟で実施されているものの、カテーテル感染尿路感染症 (CAUTI) は1病棟のみの限定的なサーベイランスとなっていた。指摘を受け、SSIは消化器外科、乳腺・内分泌外科、歯科口腔外科、肝・胆・膵外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産科婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科など、すべての診療科の全身麻酔下手術でサーベイランスが開始されたところである。また、CAUTIについても全病棟でサーベイランスが開始され、VAPはICU以外にEICU、救急病棟で実施したところである。今後は、改善策を継続的に実施し、結果の収集や分析等を行って実績を積み上げるよう改善が求められる。

改善要望事項: サーベイランスの実施に関して、貴院が補充的な審査で提示した改善策を継続的に実践し実績を積み上げてください。

(2) 確認審査「確認審査結果報告書」(発行日: 2023年8月18日)

評価: C

所見: 本審査での指摘を受けて、SSIは全身麻酔症例ではすべての診療科全例で行われ、データ収集を始めてからすでに6ヶ月以上が経過しており、定常状態に至っている。CLABSIはICU、EICU、HCU、救急病棟などのクリティカル部門のほか、消化器内科、消化器外科、血液内科など全11部門で実施され、病院全体の70%近くが網羅されている。さらに、それ以外の部署でも中心静脈カテーテル挿入の血液培養陽性例のフォローにおいて感染事例が把握されており、CLABSIは適切に実施されている。CAUTIについてはすでに2023年4月の時点で全部署において開始され、データ収集からフィードバック、改善活動にまでつなげている。また、サーベイランスデータは毎月部署とのミーティングを行って改善活動に繋げており、医療関連感染制御に向けた情報収集と検討を適切に実践している。しかし、VAEについては、人工呼吸器の使用が全体の70%を占めているICU、EICU、救命病棟、HCUでの実施にとどまっている。今後、VAEについても対象となる機器を使用している全病棟を対象として、計画的・継続的なデバイスサーベイランスを実施するよう改善が求められる。

改善要望事項: VAEの対象となる機器を使用している全病棟を対象として、計画的・継続的なデバイスサーベイランスを実施してください。

(3) 再審査「再審査結果報告書」

評価: B

所見: 確認審査での指摘を受け、SSI、CLABSI、CAUTIといったデバイスサーベイランスは悉皆性をもって病院全体で実施され、感染事例が増加する状況があった際には、SSIでは手術内容や手術時の消毒方法、術後創処置の手順、抗菌薬の使用方法などの細部に亘った介入が行われ、CLABSIやCAUTIにおいても必要性の判断から細かな看護手順に至るまでの介入、改善活動が行われていることを確認した。VAEに関しては、新たに立ち上げた電子カルテ上のテンプレートを用いて40項目近いデータを看護師が毎日入力し、感染制御部でデータベース化する体制が整備され、VAPのみならず、VAC、IVACといった詳細なデータ管理ができる体制が全病的に構築された。こうしたデータベースに基づいて、VAEが増加傾向と判断された部署に対して適切に介入が行われており、データベース構築の作業、日々の看護師の感染制御に対する業務内容、データ解析に対する感染制御部内の作業量などを勘案し、デバイスサーベイランスに関しては極めて高い質が確保され、継続してその機能を発揮していることを確認した。

改善要望事項: -

2. 評価C(改善要望事項以外)の評価項目についての取り組み状況の確認

該当項目はありません。

3. 総括

改善に取り組まれており、一定の水準に達していると判断する。

4. 認定の判定

認定の判定: 認定